

資格取得 紹介

日本静脈経腸栄養学会

栄養サポートチーム専門療法士の認定を受けて

栄養部長 宮地 悦美

栄養サポートチーム (NST: Nutrition Support Team) とは栄養をサポートする多職種の集団 (チーム) です。当院の NST は平成17年より活動を開始し、平成20年に「日本静脈経腸栄養学



会認定 NST 稼働施設」の認定を受けました。専門療法士の認定試験を受験するには管理栄養士、看護師等の国家資格を有し、5年以上医療・福祉施設に勤務し栄養サポートに関する業務に従事した経験を有し、さらに学会単位30単位以上、認定教育施設での40時間の臨床実地修練が必要であるため、最初は尻込みをしていましたが、基礎的な勉強をしたいとの思いが強くなり、チャレンジすることにしました。

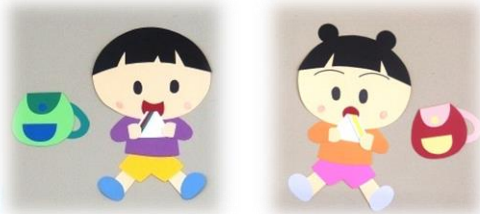
若い人たちがばかりの中での講習は、ちょっと場違いな感じではありましたが、悪性疾患、嚥下障害などに対する栄養は栄養知識以外にケアの必要性もあと思いました。

認定教育施設での臨床実地修練は大学附属病院で行いました。他の医療施設で研修を受けることにより、色々な面で刺激を受け、大変実のある研修になりました。

この認定試験では管理栄養士以外の多職種の方が受験されるため、大学附属病院で臨床実地修練を一緒に受けた看護師さんや、薬剤師さんに教えてもらうことも多々あり、ディスカッションの必要性も大切と感じました。

当院の様な難病疾患や、精神疾患では栄養の改善や維持がどこまでできるのか？しかし、食べることができなくて悩んでいる患者さんもたくさんいます。

改めて勉強し、知らないことの多さととまどい、後悔し・・・そして、充実した1年でした。食べること栄養をとることは生きていくこと、栄養をサポートしていくことを皆さんと一緒に考えていきましょう。



資格取得奨励制度を活用して

5病棟准看護師 別役 明実

この度、准看護師を習得するにあたり、2年間資格取得奨励制度を活用させて頂き、無事4月に再入職する事ができました。



今振り返れば、2年間アルバイトをさせてもらいながらの学業との両立は精神的にも、身体的にも厳しい時もありました。学費や日常生活を送るための必要な収入を得るために努力して来られた事は、この制度が支えになってくれたからだと思っていますし、自分自身のスキルアップのためにも後押ししてくれていたように思います。在学中は、さまざまな年代の仲間たちと学業に励み、切磋琢磨し合いながら頑張ってきましたが、皆様に経済的負担が大きかったように思います。しかし、資格を習得するという事は、それなりの準備と同時に、自分自身の気持ちが大変であると思えました。これから資格を習得される方々にとっても、資格取得奨励制度が活用しやすい環境と、途絶える事のないうように願っています。

現在高知県でも、看護師や介護職員不足が問題となっていますが、今後はもっと深刻になると予想されています。資格を習得できた事で、少しでも多くの方に看護を提供できればと思っていますが、責任の重さも感じています。私は現在、5病棟で業務に就かせて頂いていますが、師長さんをはじめ、先輩方の丁寧なご指導の下、日々業務を頑張っていると思いつつも、時折自分の中で空回りしている事が多く、まだまだ未熟であると痛感しています。今後も少しずつ努力し、看護技術を磨いて行くと共に、資格を習得できた事を感謝し、准看護師としての役割を考えながら業務に取り組んでいきたいと思っていますので、宜しくお願い致します。

